

伊勢志摩サミットに反対しよう!

5月26～27日、三重県賢島で、伊勢志摩サミット（第42回先進国首脳会議）が開かれます。サミットは、アメリカなど諸大国が、世界支配秩序の維持と相互利害調整を図るための談合の場であり、私たちはその開催に反対します。

伊勢志摩サミットは、「対テロ戦争」を推進するための会議です。「対テロ戦争」とは、世界秩序への様々な異議申し立てを抑え込むために、支配者たちがつけた名称です。今、この「対テロ戦争」は、アメリカが力の限界を露呈させ、日・欧がより前面に立つ中で進められています。そうしたなか、昨年戦争法を強行採決した安倍政権は、「対テロ戦争」に参戦しようとしているのです。

もうひとつは、朝鮮半島での戦争挑発を煽り、中国を牽制する談合の場となることです。3～4月、アメリカ・韓国は、先制攻撃をも含む米韓合同軍事演習を強行し、安倍政権は東アジアで中・朝との対決を煽って、この流れに掉さそうとしています。私たちはサミットに集まる支配者らの一切の戦争策動に反対します。

更に、今回のサミットは、金融バブル・過剰生産の中で危機にあえぐ世界経済への対策を確認する場とされています。その対策は、破綻する新自由主義路線をより一層推し進めるもの以外ではあり得ません。私たちは、雇用の非正規化、農業の破壊、格差の深刻な拡大、社会関係崩壊など労働者・民衆の生活を破綻の極に追いやる策動に反対します。

安倍政権は、伊勢志摩サミットを自衛隊・海上保安庁・警察、そして官・民共同の戒厳態勢の中で強行しています。すでに、サミットと東京5輪開催を口実にして、「対テロ」治安訓練を全国規模で実施し、予防弾圧をしかけています。その先には、秘密法・盗聴法・共謀罪を一体化した治安管理エスカレートと国家緊急権・9条を軸にした改憲が目論まれています。フランスのように、「対テロ」非常事態態勢を常態化しようとしているのです。また安倍政権は、サミット開催地を伊勢神宮と結びつけました。その意図は、天皇制強化、マイノリティーへの差別強化、そして排外主義の更なる扇動です。

危険なサミットに対して大衆的に抗議・反対の声をあげましょう。私たちは、戦争法や米軍・自衛隊基地に反対する、あるいは秘密法・盗聴法・共謀罪に反対するなど、各領域で安倍政権の暴走に反対する闘いを進めています。今こそ、サミットを場とした「対テロ戦争」エスカレート、そして改憲策動に抗することのできる闘いを、共に創りだしたいと思います。辺野古新基地建設阻止などの沖縄民衆の闘いと連帯し、反・脱原発の運動と連帯して闘っていきましょう。戦争法廃止をめざし、あらゆる治安立法を許さず、抑圧・差別・貧困にあえぐ労働者・民衆の怒りと結びついて共に反撃に転じましょう。多くの仲間と連帯し、多様性を活力に変えて、安倍政権の暴走と対決していきましょう。

伊勢志摩サミットに反対する実行委員会への参加を訴えます。

■5月8日(日) 14時～17時 伊勢志摩サミット反対集会

・講演「中東から見た世界の現在—サウジ、イランを中心に」

田原牧さん(『東京新聞』特報部)

・南部労政会館 ・JR大崎駅 北口徒歩3分
・資料代500円

*5月22日(日) 午後に、新宿デモを予定しています。戒厳態勢の中ですが、ご参加ください。

【呼びかけ団体】

- ・共謀罪反対！国際共同署名運動
- ・救援連絡センター
- ・戦争法廃止・安倍たおせ！反戦実行委員会
- ・戦争に協力しない！させない！練馬アクション
- ・立川自衛隊監視テント村
- ・破防法・組対法に反対する共同行動